

相模原市立グラウンド等スポーツ施設に関する条例施行規則

令和３年３月３１日

相模原市規則第５９号

(趣旨)

第１条 この規則は、相模原市立グラウンド等スポーツ施設に関する条例(平成１７年相模原市条例第１６２号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(利用承認の申請手続)

第２条 条例第４条第１項の規定により相模原市立グラウンド等スポーツ施設(以下「スポーツ施設」という。)の利用の承認を受けようとする者(承認された事項の変更をしようとする者を除く。以下「利用申請者」という。)は、相模原市立グラウンド等スポーツ施設利用承認申請書(以下「利用承認申請書」という。)を市長(条例第１６条に規定する大野台南テニスコート等(以下「大野台南テニスコート等」という。)にあっては、指定管理者)に提出しなければならない。ただし、小倉プール、小原プール又はふじのマレットゴルフ場の利用の承認を受けようとするときは、この限りでない。

２ 前項本文の規定にかかわらず、相模原市公共施設予約システムの利用者登録カードの交付等に関する規則(平成７年相模原市規則第３５号。以下「カードの交付等に関する規則」という。)第３条第１項の利用者登録カード(以下「利用者登録カード」という。)の交付を受けた者が、カードの交付等に関する規則第２条第１号に規定する相模原市公共施設予約システム(以下「公共施設予約システム」という。)を利用して、スポーツ施設の利用の承認を受けようとするときは、利用承認申請書の提出を省略することができる。

３ 市長(大野台南テニスコート等にあっては、指定管理者)は、前２項の場合において必要があると認めるときは、利用申請者に必要な書類の提出を求めることができる。

(利用承認等)

第３条 市長(大野台南テニスコート等にあっては、指定管理者)は、前条の規定による申請があった場合において、その利用を、承認するときは相模原市立グラウンド等スポーツ施設利用承認通知書(以下「利用承認通知書」という。)により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。ただし、同条第２項の

規定による申請があった場合において、その利用を承認するときは、その旨を公共施設予約システムを使用して表示することにより通知したものとみなす。

- 2 前項の規定による承認は、申請の順序に従って行い、申請が同時の場合は、協議又は抽選によりこれを決定するものとする。ただし、市長(大野台南テニスコート等にあつては、指定管理者)が、公用又は公共のため特に必要があると認めた場合は、この限りでない。

- 3 小倉プール、小原プール又はふじのマレットゴルフ場を利用しようとする者は、利用券の交付を受けることにより、利用の承認を受けたものとする。

(使用料の納付等)

第4条 スポーツ施設の利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)は、市長が指定する期日までに使用料を納付しなければならない。

- 2 市長は、前項の期日までに納付がないときは、同項の承認を取り消すことができる。

- 3 利用者は、第1項の期日までにスポーツ施設の利用の取消し(利用日、利用施設(附属設備を含む。以下この項において同じ。))又は利用の承認を受けた時間(以下「承認時間」という。))を変更する場合における従前の利用日、利用施設又は承認時間の全部又は一部の取消しを含む。以下同じ。))を申請し、市長の承認を得たときは、使用料の納付を要しない。

(利用の取消し及び承認事項変更の手続)

第5条 利用者は、スポーツ施設の利用の取消し又は承認された事項の変更(以下「承認事項変更」という。))をしようとするときは、相模原市立グラウンド等スポーツ施設利用承認取消(変更)申請書(以下「利用承認取消(変更)申請書」という。))に利用承認通知書その他関係書類を添えて、市長(大野台南テニスコート等にあつては、指定管理者)に提出しなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、利用者登録カードの交付を受けた者が、公共施設予約システムを利用して、同項の規定により利用の取消しをしようとするときは、利用承認取消(変更)申請書の提出を省略することができる。

- 3 市長(大野台南テニスコート等にあつては、指定管理者)は、前2項の規定による申請があった場合において、利用の取消し又は承認事項変更を、承認するときは相模原市立グラウンド等スポーツ施設利用承認取消(変更)決定通知書により、承認しないときはその旨を利用者に通知するものとする。ただし、前項の規定に

よる申請があった場合において、その利用の取消しを承認するときは、その旨を公共施設予約システムを使用して表示することにより通知したものとみなす。

- 4 前条第1項の規定は、前項本文の規定による承認事項変更の承認により既に納付された使用料(以下「既納使用料」という。)に不足を生じた場合について準用する。

(承認時間)

第6条 承認時間には、準備及び後始末に要する時間を含むものとする。

(使用料の減免)

第7条 条例第7条の規定による使用料の減額又は免除は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。この場合において、減額を行う額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り上げる。

- (1) 市内の学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程に限る。)及び特別支援学校(高等部を除く。)(以下「小中学校等」という。)が教育課程に基づく教育活動のために利用するとき。 100パーセント

- (2) 市内の学校教育法第1条に規定する幼稚園、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(平成18年法律第77号)第2条第7項に規定する幼保連携型認定こども園若しくは児童福祉法(昭和22年法律第164号)第39条第1項に規定する保育所又はこれらに準ずる施設(以下「幼稚園等」という。)が幼児の教育活動等のために利用するとき。 50パーセント

- (3) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害と判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの介護者(以下「身体障害者手帳の交付を受けている者等」という。)が利用するとき(小倉プール又は小原プールを利用するときに限る。)。 100パーセント

- (4) 65歳以上の者が利用するとき(小倉プール又は小原プールを利用するときに

限る。)。 50パーセント

(5) 公益財団法人相模原市スポーツ協会又はこれに所属する団体がスポーツの振興の目的のために利用するとき。 50パーセント

(6) 指定管理者が条例第21条の規定により行う同条第7号の事業(以下「指定管理者が行う事業」という。)のために利用するとき。 100パーセント

(7) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認めるとき。 その都度市長が定める率

2 前項の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする利用者は、相模原市立グラウンド等スポーツ施設使用料減免申請書を市長に提出しなければならない。ただし、同項第3号又は第4号に該当するときは、この限りでない。

3 市長は、前項本文の規定による申請書の提出があった場合において、その使用料を、減額し、又は免除するときは相模原市立グラウンド等スポーツ施設使用料減免決定通知書により、減額せず、又は免除しないときはその旨を利用者に通知するものとする。ただし、第1項第3号又は第4号の規定により使用料を減額し、又は免除するときは利用券を交付することにより通知したものとみなす。

(使用料の還付)

第8条 条例第8条ただし書の規定による既納使用料の還付は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

(1) 災害その他利用者の責めによらない理由により利用することができなくなったとき。 既納使用料の100パーセント

(2) 利用者が利用日の14日前までに利用の取消しを申請し、市長の承認を得たとき(第4号に該当する場合を除く。)。 既納使用料の80パーセント

(3) 利用者が利用日の7日前までに利用の取消しを申請し、市長の承認を得たとき(次号に該当する場合を除く。)。 既納使用料の50パーセント

(4) 第4条第3項に規定する場合において、既納使用料があるとき。 既納使用料の100パーセント

(5) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認めるとき。 その都度市長が定める率

2 前項の規定により既納使用料の還付を受けようとする利用者は、相模原市立グラウンド等スポーツ施設使用料還付申請書を市長に提出しなければならない。

3 前項の場合において、利用者は、利用者登録カードを用いることにより同項に

規定する申請を行うことができる。

- 4 市長は、前2項の規定による申請があった場合において、その既納使用料を、還付するときは相模原市立グラウンド等スポーツ施設使用料還付決定通知書により、還付しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

(特別な設備等の承認手続)

第9条 条例第11条第1項の規定により特別な設備等の使用の承認を受けようとする者は、相模原市立グラウンド等スポーツ施設特別設備等承認申請書を市長(大野台南テニスコート等にあつては、指定管理者)に提出しなければならない。

- 2 市長(大野台南テニスコート等にあつては、指定管理者)は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その特別な設備等の使用を、承認するときは相模原市立グラウンド等スポーツ施設特別設備等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(販売行為等の許可手続)

第10条 条例第13条ただし書の規定により販売行為等の許可を受けようとする者は、相模原市立グラウンド等スポーツ施設販売行為等許可申請書を市長(大野台南テニスコート等にあつては、指定管理者)に提出しなければならない。

- 2 市長(大野台南テニスコート等にあつては、指定管理者)は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その販売行為等を、許可するときは相模原市立グラウンド等スポーツ施設販売行為等許可通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(利用料金の減免)

第11条 条例第23条の規定による利用料金の減額又は免除は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。この場合において、減額を行う額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り上げる。

- (1) 小中学校等が教育課程に基づく教育活動のために利用するとき。 100パーセント
- (2) 幼稚園等が幼児の教育活動等のために利用するとき。 50パーセント
- (3) 身体障害者手帳の交付を受けている者等が利用するとき。 100パーセント
- (4) 65歳以上の者が利用するとき。 50パーセント
- (5) 公益財団法人相模原市スポーツ協会又はこれに所属する団体がスポーツの振

興の目的のために利用するとき。 50パーセント

(6) 指定管理者が行う事業のために利用するとき。 100パーセント

(7) 前各号に掲げるもののほか、指定管理者が特に必要があると認め、市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率

2 前項の規定により利用料金の減額又は免除を受けようとする者は、第3条第3項の規定によりふじのマレットゴルフ場の利用券の交付を受けることにより、減額又は免除を受けたものとみなす。

(遵守事項)

第12条 利用者(利用目的に応じて入場した者を含む。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 定員を超えて入場させないこと(利用者に限る。)

(2) 承認された以外のスポーツ施設の施設、附属設備等を利用しないこと。

(3) 許可なく建物等に張り紙をし、又はくぎ類を打ち込まないこと。

(4) 許可なく火気を使用しないこと。

(5) スポーツ施設の器具等を許可なくスポーツ施設外に持ち出さないこと。

(6) 許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。))を除く。)を持ち込まないこと。

(7) 許可なく所定の場所以外の場所で飲食しないこと。

(8) 所定の場所以外の場所で喫煙をしないこと。

(9) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(10) その他係員の指示に従うこと。

(職務上の立入り)

第13条 市長(大野台南テニスコート等にあつては、指定管理者)は、スポーツ施設の管理上必要があると認めるときは、係員を利用の承認をしている施設に立ち入らせることができる。この場合において、利用者は、当該係員の立入りを拒むことはできない。

(損傷等の届出)

第14条 スポーツ施設の施設、附属設備等を損傷し、又は滅失させた者は、直ち

にその旨を文書により市長(大野台南テニスコート等にあつては、指定管理者)に届け出なければならない。

(様式)

第 1 5 条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

(委任)

第 1 6 条 この規則に定めるもののほか、スポーツ施設の管理について必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この規則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。